

## 別記様式（第4条関係）

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第4回 宍粟市参画と協働のまちづくり指針策定委員会	
開 催 日 時	令和3年11月19日（金）10:00～12:00	
開 催 場 所	いちのぴあ大ホール	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長 作野広和	
委 員 氏 名	（出席者） 作野広和・野村和男・森脇常公・ 太田卓	（欠席者） 柏木登起・加治瑞穂
事 務 氏 局 名	市民生活部：森本部長・山本次長 まちづくり推進課：小河次長兼課長・福田係長・上川主事 一宮市民局：西岡課長、田路副課長	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） ・地域運営組織について ・地域運営組織の必要性 ・地域運営組織の構成イメージ及び自治会・地区自治会との関係 ・地域運営組織の設置に向けた市の推進施策 ・次回日程：令和3年12月10日（金）午後	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ 作野 広和 _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	※開会
委員長	あいさつ
事務局	(1) 地域運営組織について委員長よりお願いする。
委員長	※ (1) 地域運営組織について説明
委員長	(2) 地域運営組織の必要性について事務局よりお願いする。
事務局	※ (2) 地域運営組織の必要性について説明
副委員長	自治会活動はある程度できているが、若者や女性を含めた活動はできていないため、地域運営組織の必要性は感じる事ができた。
委員	自治会は戸主が中心となっているが、若者や女性を含めた全員でまちづくりに取り組んでいくことが大事だと思う。各々が得意分野の活動に参加してもらおう。先日のアンケート報告会では、千種高校の学生がいろいろな企画や考えを発表してくれた。学生の言うこと、と片づけてしまわず、うまく巻き込み一緒にやっていけるといい。
委員	宍粟市の将来を考えると、若者にもまちづくりに参画してもらい自分の意見が届くということを実感してもらおうことで、地域への愛着や誇りが持て、宍粟市で自己実現ができることにもつながるのではと思う。
委員長	色々な地域で調査等行ってきたが、若者が住みたい、住み続けたいと思う地域は、自己実現ができる地域という結論に至っている。仕事があることが大事と言われることもあるが、必ずしもそうではなく仕事は選ばなければあり、むしろ今は人手不足である。地域運営組織は若者の自己実現の可能性を引き出す手段になる。この委員会での協議として、地域運営組織は必要という意見でまとめさせていただいてよろしいか。
委員	※異議なし。
委員長	(3) 地域運営組織の構成イメージ及び自治会・地区自治会との関係について

	事務局よりお願いする。
事務局	※ (3) 地域運営組織の構成イメージ及び自治会・地区自治会との関係について説明
委員	地域運営組織と地区自治会の関係としては4パターン示されたが、地区自治会との関わり方の違いだと思うが、地区自治会の立ち位置だけの違いなのか、機能としてメリットデメリットがあるのか。
委員長	自治会は戸主が中心だが、それに対し地域運営組織は若者や女性も参画する。地域運営組織のポイントはやりたいことを実現するという。地域にはこんなことをしたいと思っている人が自治会内やそれ以外にもいて、自治会は自治会の抱える課題をやらざるを得ない。両者を尊重した地域の現状に合う形にする必要がある。 資料の型でいうと組織参画型は自治会のコピーになる可能性があるため、組織を立ち上げる意味があいまいになる可能性がある。代議員型は人が多くなるため、協議と実行の組織分けが必要になる。地区自治会組織構成型は上下の関係という点では地区自治会長が部会長になってしまうが、この形が望ましいのではと思う。
副委員長	今の自治会活動では、若者や女性の意見を集約した活動がしづらいから全員の意見を集約することのできる組織が必要だと分かったが、どのように参画するのか。
事務局	今まで自治会長や戸主の関わりだった自治会から、より活動を広げていく中で若者や女性など関わりたい人が各々得意分野で集まり、例えば部会をつくることで自治会よりも意見を吸い上げやすくする仕組みを考えている。 千種のアンケート報告会で獣害についてあったが、獣害対策について得意な人が集まり、部会になり、自分がやりたいことと地域の課題がマッチすることで自己実現にもつながるのではと考える。
副委員長	やりたいことのある人にこの指とまれ方式で集まってもらうということか。
事務局	人にはそれぞれに得意分野があると思うので、無理やりさせるのではなく自発的な活動の中で地域の課題を1つずつでも解決できればと考える。
副委員長	自治会とは別ものなのか。自治会に関わっている人が地域運営組織でも活動す

	るのか。
委員長	分かれてそれぞれで活動するとやりやすいが、大きなことをやろうとすると自治会を動かす必要があるので自治会の合意形成が必要になる。地域の実態に応じて変わるが、地区自治会が地域運営組織に変わっていくことも考えられる。
委員	千種は先行してやっているが、自治会と別のものではない。まちづくり推進委員会の会長、副会長は自治会長以外の人になっている。やらされるのではなく、やりたいことをやれる組織になっていきたい。今後、そのための部会をつくっていくことになると思う。岩野辺自治会では、花づくりやふれあい喫茶など、いろいろなグループがあり、それを自治会長がまとめている。千種はそうやってまとまっていくのかなと思うが、山崎は人も自治会数も多い。それぞれやり方も違って来るだろう。
委員長	(4) 地域運営組織の設置に向けた市の推進施策について事務局より説明をお願いします。
事務局	※ (4) 地域運営組織の設置に向けた市の推進施策について説明
副委員長	一括交付金について、現在自治会活動に対して補助金をいただいているが、地域運営組織を立ち上げると補助金は減額になるのか。
事務局	現状の額は確保する必要があると考えている。
副委員長	減額にはならないのか。
事務局	現状を確保したい。朝来市は、地域運営組織に補助金が入った後、そこから自治会に再配分するというやり方をしている。この点については今後議論が必要になってくると考えている。
副委員長	そうすると自治会への補助金は変わらず、地域運営組織を立ち上げる分が増額になるということか。
事務局	現状としては増額になると考えている。
委員長	この件については、一度市としてもきっちり整理してから話を進めた方がよい

	かと思う。
副委員長	今は地区自治会と単位自治会に補助金が入っているが、地域運営組織を立ち上げることで減額の可能性があるなら立ち上げについて不安に思う。
事務局	慎重に協議していく必要があると考えている。
委員長	お金の流れについては今後も色々と協議が必要と思う。
委員	地域運営組織を立ち上げたとして、多くの人に関わることで意思決定のスピードが落ちるので、ファシリテーション能力のある人を配置してもらいたいと思う。
委員長	コミュニティ支援員以外にもということか。
委員	地域再生アドバイザーに会議のたびに来ていただくわけにはいかないと思うので、コミュニティ支援員以外にもファシリテーション能力を向上させる機会があれば参加していただけたらと思う。
委員長	ファシリテーション能力のある人間を育成することは大事で、これは行政にも求められている能力。 本日の資料の1から7の項目が今後の指針の骨子になるのか。
事務局	はい。地域に説明をしていく必要もあり、必要性や仕組みを骨子として今年度中にまとめていただいて、2年目3年目とバージョンアップしていければと考えている。
委員長	市としてはこのような指針で地域運営組織をつくっていきたいということなので、一度、各自持ち帰っていただき、気になる点をまとめていただきたい。
副委員長	地域運営組織については、自治会に加えて若者や女性、高齢者や他で活動している人たちが組織として参画していくと認識しているが具体的にどうやって人を集めるのが分かりづらい。地元の地区自治会の会議が近にあるのだが、各自治会長にどう伝えていったらよいものか。
事務局	必要性について委員には理解いただいたが、地区の会長さん方に説明するのはまだ難しいのではないかと。自治会と地域運営組織の違い程度の説明にとどめて

	おくくらいでもよいのでは。
委員長	市はこれからこのような組織を作ろうとしているという程度にとどめておいた方がよいと思う。初めて聞く人は理解しづらいので、仕組みや方向性についてもっと詰めてから話をすると思われやすいと思う。
委員長	(5) 次回の日程について事務局から願います。
事務局	次回日程について12月10日午後で願いたい。詳細については追って報告させていただきます。
副委員長	※閉会あいさつ

言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。